

## 障がい者が作る雑貨専門店が今度は店舗運営を障がい者と共に

～障害福祉のソーシャルベンチャーが次なる挑戦へ～



吉祥寺の雑貨ショップが8月から障がいのある方達の仕事の場に

吉祥寺の雑貨ショップ「マジエルカ」は、日本全国の障がい者施設で作られた雑貨製品の中から魅力の高い製品を専門に扱うという、日本で初のセレクトショップとして2011年に開業して以来、個性的な雑貨を通し、より多くの方が障がい者の事をより身近に感じ、もっと気軽に繋がる事ができる場を目指してきました。

〈これまで障がい者施設で作られたそれら製品は・・・〉

- ・ 福祉バザーなど閉鎖的で限られた機会しか売れる場所が無い
- ・ 「買ってあげる」と「買ってもらう」という支援関係での成り立ちが続いてきたこともあり
- ・ 福祉の側にはより良いモノを作るという高いモチベーションが不足しがち
- ・ 社会の側からは障がい者も働いているという認知があまりされていないという状況でした。

## 〈障がい者に支払われる仕事の報酬は月額たったの15,000円〉

全国の福祉施設で働く障がい者の作業に支払われる対価(工賃という)は月額平均15,033円(厚労省調査による平成27年度実績)程度しかありません。

この数字を見ても、障がい者が働くという事への理解や機会の広がりがまだまだ進んでいないのがわかります。

## 〈支援よりも対等な関わり方で、誰にとっても良い形に〉

マジエルカを始めたきっかけは「障がい者を支援したい！」ではなく、元々は障がい者にそんな仕事が出来ると知らなかった私が、あるきっかけから彼らが作る魅力の高い商品に出会って驚き、「これはもっとちゃんとした価値として世の中から受け入れられるのでは!？」と感じたからでした。

そして、商品としてお客様から認められる価値がある物を、継続的な活動としていく為にも利益を生み出せる物を、という、支援相手としてではなくビジネスパートナーとして取引できる相手と商品を日本全国から集めたショップ作りをしてきた結果、吉祥寺を訪れるたくさんのお客様に受け入れられ、他では見られない個性的な商品である事もあいまって、新しい発見を楽しみながらお買い物をして頂けていると実感しています。

そしてその結果、売れば売れただけ作り手である障がい者の収入と、私達マジエルカの利益の両方に繋がる形を作ってきました。

また、吉祥寺というお洒落な街で綺麗に展示され、数多くのお客様の目に触れる事自体もマジエルカと取引している全国70箇所以上の福祉施設の利用者やそのご家族、そしてまた支援に携わっている職員にとって大きなモチベーションにも繋がっているという事でたくさんの方の支持を頂けるようになりました。

## 〈今後はマジエルカ自体を障がい者の働く場としても〉

全国の障がい者の応援にもなってきたそんなマジエルカでのお仕事、それ自体にこれからは障がい者自身に仲間として関わってもらうことで、その活動をさらに広げていきたいと考え、東京都から今年の8月開始として障害者就労継続支援事業所として認可を取得しました。障がい者が働くその多くがあまり人目に触れにくい活動が多い中、より世間に知ってもらうべくマジエルカの活動に障がいを持っている当事者たちが関わる事で、これまでマジエルカがモノを通してだけでアピールしてきた障がいのある人たちが持つ力と可能性、そして決して特別な対象ではない身近な存在だという事を、彼ら彼女ら自身の働き方という、ヒトを通してさらに世間に示していきたいと考えています。

このマジエルカの新たなチャレンジは地域を中心にたくさんの注目と応援をいただいています。

お問い合わせ先

## 株式会社マジェルカ

東京都武蔵野市吉祥寺本町3-3-11 中田ビル1・B1F

担当者: 藤本光浩

Tel: 0422-27-1623(10:30~19:30)

Mobile: 090-9844-7654

Mail: [fujimoto@majerca.com](mailto:fujimoto@majerca.com)

HP: <http://www.majerca.com>